

令和6年1月26日

一般社団法人 全国専門学校教育研究会
会員各位

校 運 営 部 会 座 長 成 底 敏
教育研究・質向上委員会 委員長 八木 信幸
教育研究・質向上委員会 副委員長 木村 隆浩
教育研究・質向上委員会 副委員長 竹谷有樹子

**休退学防止に向けて「学生の心理的・発達的特徴の理解とそのかかわり方の視点
—学生・保護者への対応，教職員のメンタルヘルスの維持—」研修について**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、学校現場では、休退学の防止、特に学生一人ひとりを理解し、そして学生とその保護者にどのようにかかわるかは難しく、教職員のメンタルヘルスについても、大きなテーマになっていると思います。

そこで、昨年に引き続き、臨床心理士、公認心理師でスクールカウンセリングの経験豊富な先生にお願いして、研修を実施いたします。

年度末のご多用な時期とは存じますが、教員の方はもちろん、管理職、事務、広報など学生に携わるいろいろな業務の皆様のお役立ていただければと考えております。ぜひこの機会に多くの皆さんに受講していただきたい内容ですのでよろしくお願い申し上げます。

敬具

研修内容について

◆日 時

1日目 令和6年3月18日（月）13:00～18:00（18:00～情報交換会）

2日目 令和6年3月19日（火）9:00～12:00

◆テーマ

「学生の心理的・発達的特徴の理解とそのかかわり方の視点

—学生・保護者への対応，教職員のメンタルヘルスの維持—」

文部科学省（2023）によれば、令和4年度の大学・短期大学，専門学校などの高等教育機関への進学率は、83.8%（内、大学・短期大学60.3%，高等専門学校・専門学校23.5%）となっています。進学率の上昇に伴い、教員は学生の変化や多様化への対応に迫られる現状があります。たとえば、対人関係のトラブルや葛藤、ハラスメント被害、学業不適應の長期化、精神障害や発達障害、自傷行為など、学生の抱える問題に関する相談は増加傾向にあると指摘されています。

今回の研修では、学生の置かれている現状を整理し、人間関係のあり方、心理発達や不適應の問題などを概観した上で、学生へのかかわり方の視点を提供していきたいと思っております。併せて、保護者への対応や教職員のメンタルヘルスに関する内容についても取り上げていき、またグループワークでは事例（ケース）を通して、実践的に検討していきたいと考えています。

◆研修の概要

第1日目 令和6年3月18日(月)

時間	概要	詳細内容
12:30~13:00	受付	-
13:00~13:50 (50分)	現代の学生の置かれている現状と教員の困り感	学生にかかわる調査資料やデータをもとに、その現状および学生への心理的影響と教員の困り感についても解説していきます。
13:50~14:50 (50分)	学生を取り巻く心理的不適応、発達障害等の特徴と理解	学生が抱えやすい心理的問題(精神障害等を含む)と発達障害の特徴について紹介します。
15:00~16:30 (90分)	グループワークとケース理解①(学生対応のケース)	学生対応・相談ケースを取り上げて、グループワークを通して、その特徴および問題理解、対応方法について検討します。
16:30~18:00 (90分)	グループワークとケース理解②(保護者対応のケース)	保護者対応・相談ケースを取り上げて、グループワークを通して、その特徴および問題理解、対応方法について検討します。
18:00~19:30	情報交換会	(名刺をご用意下さい)

第2日目 令和6年3月19日(火)

時間	概要	詳細内容
8:30~9:00	受付	-
9:00~9:45 (45分)	各学校で抱える学生対応・保護者対応の課題の共有	事前アンケートにより、学生対応や保護者対応の成功例や困難例などを抽出し、研修全体で共有します。
9:45~11:25 (100分)	インシデント・プロセスを利用した事例検討—学生対応または保護者対応	研修参加者の中から、ケース発表者を募り、実際に対応した学生対応または保護者対応のケースを発表し、①ケースの状況理解、②ケース理解と見通しのグループワーク、③対応のイメージの共有とまとめを行い、実践的な対応の習得を目指します。
11:30~12:00 (30分)	教職員のメンタルヘルス、質疑応答	教職員のメンタルヘルス上の問題やその健康維持にかかわる心理学的知見を紹介します。また、研修全体を通じた質疑応答を行います。

※両日とも適宜休憩や質疑応答を入れます。

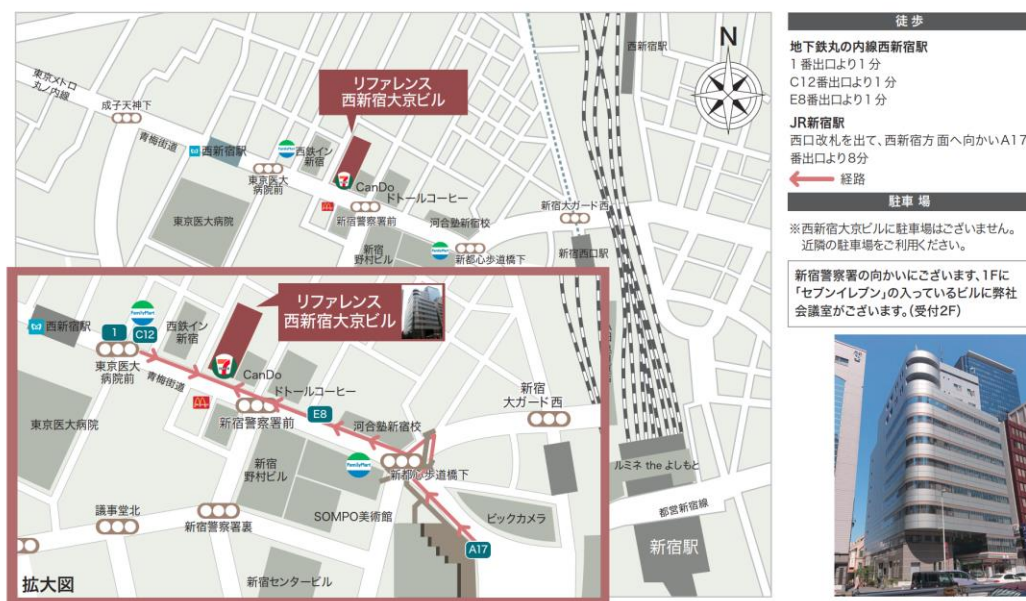
◆研修の参加にあたっての必要な事前知識

事前知識は特に求めませんが、授業時の学生とのかかわりにおいて気になる点に加えて、実際の学生対応や保護者対応例をご準備して参加いただければ幸いです。

◆会場(予定)

リファレンス西新宿大京ビル貸会議室

東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル2F・5F



徒歩

地下鉄丸の内線新宿駅
1番出口より1分
C12番出口より1分
E8番出口より1分

JR新宿駅
西口改札を出て、西新宿方面へ向かいA17番出口より8分

← 経路

駐車場

※西新宿大京ビルに駐車場はございません。近隣の駐車場をご利用ください。

新宿警察署の向かいにございます。1Fに「セブンイレブン」の入っているビルに弊社会議室がございます。(受付2F)



リファレンス西新宿大京ビル貸会議室

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル2F・5F
TEL 03-5937-1542 / FAX 03-5937-1543

◆講師：坂本 真也（さかもと しんや）

人間環境大学心理学部心理学科 准教授
(臨床心理士・公認心理師)

小・中学校のスクールカウンセラー、大学学生相談室カウンセラー、精神科クリニック心理士など経て、現職。専門はスクールカウンセリング、臨床心理学。教育現場を中心に、児童生徒や学生の心理相談業務に従事し、また保護者への心理的援助や教師への支援を行ってきた。また、教育委員会における特別支援教育の教員研修、小・中学校の現職教育研修なども多数実施している。

◆定員

30名

※お申し込みは先着順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。

◆参加料

全専研会員校 17,000円(税込み) / 1名

全専研非会員校 25,000円(税込み) / 1名

※参加料は当日ご持参下さい。(領収書をお渡しします)

◆申込み方法

お申込みは申込書をメールでお送りください。

申込期間 **令和6年3月8日(金) 18:00まで**

お申込みのメール送付先 kimura@kawahara.ac.jp 学校法人 河原学園 木村 隆浩

※受信後、受理確認のメールを返信いたします。(返信が無い場合はお手数ですが電話連絡をお願いいたします)

※複数人のお申込みの場合は、メールをいただいた方を代表としてお返事いたします。

【お問い合わせ】

担当 学校法人河原学園 木村 隆浩 メール kimura@kawahara.ac.jp 電話 089-943-5333

休退学防止に向けて「学生の心理的・発達の特徴の理解とそのかかわり方の視点
—学生・保護者への対応，教職員のメンタルヘルスの維持—」研修について

3月18日(月)・19日(火)

参加申込書

法人名 _____

学校名 _____ 記入者名 _____

TEL _____ メールアドレス _____ @ _____

フリガナ 参加者氏名	部署(学科)・役職	メールアドレス

お申込み方法はメールでお願いいたします。

申込期間 **令和6年3月8日(金) 18:00 まで**

お申込みのメール送付先 kimura@kawahara.ac.jp 学校法人 河原学園 木村 隆浩

※受信後、受理確認のメールを返信いたします。(返信が無い場合はお手数ですが電話連絡をお願いいたします)

※複数人のお申込みの場合は、メールをいただいた方を代表としてお返事いたします。

※お申し込みは先着順とし、定員になりしだい締め切らせていただきます。

講座の内容等に関するお問い合わせ先

学校法人 河原学園 本部 TEL089-943-5333 木村までお願いいたします。

メールでのご質問も受け付けいたします。